

江戸川区スポーツ推進委員会

スポーツリーダー

編集：広報部
NO.379

東京都スポーツ推進委員研修会 広域地区別研修会 ～第5ブロック～

テーマ
「子どもとスポーツ」
～よいスポーツリーダー・指導者とは～



昨年10月29日（土）午後、タワーホール船堀にて「平成28年度東京都スポーツ推進委員研修会 広域地区別研修会（第5ブロック）」が開催されました。第5ブロックは、江東区・足立区・墨田区・葛飾区・江戸川区で構成されています。この5区が輪番で研修会の主管を務めており、今年度は江戸川区が当番区でした。

今回の研修会は、「子どもとスポーツ～よいスポーツリーダー・指導者とは～」をテーマに2名の講師による講演で見識を深め、その後の意見交換会により第5ブロック構成区間の連携を深める二部構成で開催しました。各区からの参加者は、スポーツ推進委員と行政担当者进行合わせ概ね20名程度で、江戸川区からの参加者を含めると130名を超える規模での研修会となりました。



講演会の第一部の講師は、元広島東洋カープ監督で、現在は少年軟式野球国際交流協会理事長の古葉竹識氏でした。少年軟式野球の国際大会は江戸川区球場で毎年開催されており、当区とも非常にゆかりの深い方です。当日は、「耐えて勝つ シンキング・ベースボール～古葉流育成論～」をテーマに、ご自身の野球人生を振り返りつつ、節目節目での人との出会いの大切さやその場その場で全力を尽くすことの尊さを語っていただきました。誰もが知っている有名選手の秘められたエピソードの披露もあり、会場は大いに沸きました。

講演会の第二部の講師は、東京都ドッジボール協会理事長の長谷川厚夫氏でした。足立区で長年にわたりドッジボールの指導をしており、全国大会の優勝監督でもあります。長谷川氏は非常に指導者経験の豊富な方で、「競技のドッジボールをして何を学ぶのか？子ども・指導者編」と題して講演いただきました。



ご自身の経験を踏まえ、子どもとしっかりと向き合い、話し合うことの大切さを語っていただきました。講演の中では、ドッジボール全国大会の映像放映もあり、その迫力に驚くとともに、子どもたちの真剣な表情に心打たれました。



講演会終了後は、会場を移して、情報交換会となりました。各区からの参加者が飲食を共にしながら、普段の活動状況や講演会の内容等に関し、活発に意見や情報の交換を行いました。情報交換会の途中では、各区の代表者による活動報告とその報告に対する質問コーナーも設け、非常に盛り上がりました。各区ともその活動内容には特色があり、今後の活動に大いに参考となるものでした。

今回の研修会を通じ、「よいスポーツリーダー・指導者」とは、相手にしっかりと向かい合い、よい相談相手であると共に、相手に喜びを与え、また、そのことが自身の喜びとなるような人物であるべきと学びました。更に、人との出会いや縁の大切さも感じました。今後も、スポーツを通じて、仲間と協力して、青少年の健全育成に尽力して参りたいとの決意を新たにしました。

最後になりますが、当日の運営に協力いただいた行政並びに江戸川区スポーツ推進委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

〈企画部部長 中根 宏行〉





第57回 全国スポーツ推進委員研究協議会 福井大会



平成 28 年 11 月 17 日(木)～18 日(金)に「第 57 回 全国スポーツ推進委員研究協議会 福井大会」が開催され、江戸川区スポーツ推進委員会より林委員、宮崎委員が参加いたしました。

平成 28 年 11 月 17 日～18 日にかけて、福井県鯖江市で開催された「第 57 回全国スポーツ推進委員研究協議会福井大会」に参加しました。基調講演はペップトーク(pep talk)という手法についてでした。ペップトークはアメリカで生まれたもので、指導者が選手や生徒に対し、大事な試合などの本番前に声をかける「前向きな励ましの言葉」「短い激励のメッセージ」のことです。

大会 2 日目は、第 2 分科会(生涯現役社会の実現に向けたスポーツ推進委員の役割)に参加しました。三つの事例発表、事例発表後に質疑応答が行なわれました。

最初の事例は、尼崎市における市民の運動・スポーツに関する住民意識調査の分析結果についてでした。調査の結果、地域の人々の運動・スポーツに対する価値観は多様であり、多用なニーズに対応する柔軟な対応と環境整備が重要だということが分かりました。

次の事例は、兵庫県福崎町スポーツ推進委員の意識改革、介護予防事業活動への協働についてでした。従来の活動に加え介護予防事業として、高齢者認知症予防教室へ積極的に関わるとともに、高齢者男性の健康増進を目指した自主事業「フィットネス教室」のクラスを増やし、高齢者健康増進の環境を充実させているそうです。

最後の事例は、鯖江市健康福祉部健康課の取り組みでした。生涯にわたり心身ともに健やかに暮らしていくことのできる地域社会の実現を目指し、市民の主体的な健康づくりの取り組みを支援しています。具体的な活動の例として、健康長寿アイドルグループ「SBE80!」の結成があります。平均年齢が 80 才の女性で構成され、曲に理学療法の視点から体幹を強化する体操を振り付けて演技をするそうです。デビュー後、メディアにも取り上げられ、各種イベントで公演を行っており、また、本年は国連制作番組「幸福のカタチ」に出演し、活動の場が世界へと広がっています。

今般、初めて大会に参加して、スポーツ推進委員は地域のスポーツ推進のみならず地域の文化も推進するコーディネーターとして、地域の住民の多種多様なニーズに応えることが必要だということを実感しました。

〈小松川地区 林 眞〉



11 月 17 日(木)～18 日(金)「第 57 回全国スポーツ推進委員研究協議会福井大会」が、越前市・鯖江市にて開催されました。17 日は 3 千人を超す全国のスポーツ推進委員による全体会、18 日には 4 つの分科会に分かれ、研究協議を行いました。

17 日、和太鼓による迫力満点の歓迎アトラクション・開会式・表彰式に続き、岩崎由純氏による「スポーツに学ぶコミュニケーション～元気・活力・勇気を与えるトーク術～ペップトーク」の講演、最後に翌日の分科会テーマに沿ったシンポジウムが行われました。

講演で初めて耳にしたペップトークとは、大事な試合(本番)前、指導者から選手へ贈る激励の言葉。短く分かりやすく、肯定的な言葉だけを使った、魂を揺さぶり、人をその気にさせるスピーチのことをいいます。イメージは現実化する、だからこそ指導者は言葉を磨き、パワーを込めた言葉を選手たちに贈りましょうという素敵な講演内容でした。

18 日、私は「障害者と垣根を越えたスポーツライフ」というテーマの分科会に出席しました。多種多様な障害のある方たちとスポーツと一緒に楽しんでもらおうと思った時に、正解や明確な答えは実はない。まずはどうしたいかを本人に聞いてみる、相手の細かな情報を知ったうえでプログラムを構成し、失敗を恐れずにやってみることが大事、とのこと。必要なのは、特別扱いをすることではなく、安心・安全に対する配慮と工夫。そして何よりも大切なのは、熱い思いをもって自分たちも楽しんで関わっていくということです。

自分は、スポーツ推進委員として何ができるのか。どう関わっていけるのか。今回の 2 日間の視察を終え、新たな目標を掲げることができました。

〈中央地区 宮崎 裕代〉



第1回 パラスポーツフェスタえどがわ

【日時】
平成 28 年 11 月 5 日(土)
13:30～16:30
【場所】
江戸川区スポーツセンター

2020 年、パラリンピックが東京にやってきます。もうひとつ (Parallel) のオリンピック (Olympic)、パラスポーツの祭典です。リハビリを目的としたスポーツは、いま国際的な競技スポーツへと発展しました。さまざまな競技種目があります。ルールも工夫されています。多くのメディアを通じて、皆さんもご存じかと思えます。このイベントは、2020 年東京大会に向けて、区民の皆さんにパラスポーツを知ってもらおう、体験してもらおうと開催されました。



トークショーでは、水泳リオデジャネイロパラリンピアン小山恭輔さんご自身のヒストリーを交え、前向きに水泳に取り組まれている様子を話されました。感謝の気持ちを忘れずに「東京で金メダルを取ります!!」という力強い決意に、会場からは大きな拍手がおくられました。

NO EXCUSE による車椅子バスケットボールのデモンストレーションでは、車体が激しくぶつかり、タイヤがスリップする音が場内に響き、臨場感あふれるプレーを間近で観ることができました。参加者は、車椅子を操作しながらパスやシュートをする技術の高さを実感しました。

このほかさまざまなパラスポーツの体験教室が開かれました。ボッチャは、持ち球をジャックボール(目標球)に近付ける、という簡単な競技でありながら、高い集中力と繊細な投球が求められます。ロンドンパラリンピアン秋元妙美さんが丁寧に指導してくださいました。また、ブラインドサッカーは、アイマスクを着用した瞬間から聴覚だけがたよりです。ボール内に入っている鈴の音と指示役(ガイド)の声に全神経を注ぎます。スポーツ吹矢は、誰でも安全



に楽しむことができます。用具を工夫してパラスポーツへの取り組みをはじめられています。

私たちスポーツ推進委員は、ドッジビー(ディスクゲッター)の体験教室を行いました。安全性の高い円盤(ディスク)に回転をかけて投げます。NO EXCUSE の皆さんにも挑戦していただきました。パラスポーツとしてのドッジビーに大きな可能性を垣間見ることができました。

初めて開催されたイベントに、区内外からたくさんの方がお越しくださいました。パラスポーツの魅力にふれる良い機会を得て、2020 年東京大会が待ち遠しくなりました。

〈企画部副部長 望月 一宏〉



専門部会だより



役員会	これから益々寒さが厳しくなります。体調管理に気を付けて、残りの行事に取り組みましょう。
事業部	ドッジビーフェスティバル 2017 (2月19日(日)) ご協力よろしくお願ひいたします。
企画部	皆様のご協力のおかげで5ブロック研修会を無事終了することができました。ありがとうございました。今後は障害者スポーツに取り組みます。
広報部	これからも障害者スポーツに関する記事やオリンピック・パラリンピックに関する情報を掲載し、盛り上げていきたいと思ひます。何かイベントや情報等がありましたらご提供ください。よろしくお願ひいたします。



地区部会だより



小松川	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッジビー講座：1月29日(日)、2月12日(日) ・地区マラソン大会、凧揚げ大会：1月 ・ナイトウォーク(卒業記念)：3月
中央	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ講座「ドッジビー」：1月21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日) …松江小学校体育館 10:00~12:00
小岩	スポーツ講座としてはドッジビーに力を入れており、西小岩地区委員会の少年部会と連携し、10町会の子ども会単位でチーム対抗戦を行っています。今年で第4回をむかえますが、年々参加者が増加しております。
鹿骨	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室「ラージボール卓球」：1月14日(土)、28日(土) …篠崎第五小学校
東部	<p>瑞江の熱い熱いネオホッケーのシーズンの開幕です！！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネオホッケー講座：1月15日(日)、29日(日)、2月5日(日)…下鎌田小学校 1月22日(日)…瑞江小学校 ・28th ネオホッケー大会：2月12日(日)
葛西	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッジビー：2月4日(土)…南葛西小学校 ・中高年ウォーキング教室：1月8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日) ・ふれあいニューイヤーマラソン大会(第二地区委員会)：1月15日(日) ・陸上競技大会(第一地区委員会)：1月22日(日)